

●●●2024年7月～9月期 栃木県中小企業景況調査(181回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況

D I 値
-10.5
 ※全国 -13.3

業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(4-6月期)から2.6ポイント改善し-10.5ポイントとなった。全国との比較では6期連続で全国平均を上回る結果となった。業種別に見ると、製造業、サービス業で改善、建設業、小売業で前期より悪化となった。

来期の県内全体の業況は1.9ポイント改善の-8.4ポイントとなる見込みで全国と比較すると0.8ポイント上回る。業種別の来期全体の見込みは製造業が8.0ポイント、小売業が10.0ポイント、サービス業が2.9ポイントの改善するが、建設業が7.7ポイント悪化することが見込まれている。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
製造業						
	D I 値	0.4	0.0	75.9	-10.4	-16.6

業況：前期から6.2ポイント改善し、来期も改善の見込み

来期予想(全体)
8.4
(↑)

建設業						
	D I 値	-7.7	-26.3	57.9	-10.5	0.0

業況：前期から9.4ポイント悪化、来期も悪化は続く見込み

-15.6
(↓)

小売業						
	D I 値	-30.3	-19.5	82.5	-29.2	-7.4

業況：前期から5.4ポイントの悪化、来期も改善の見込み

-20.3
(↑)

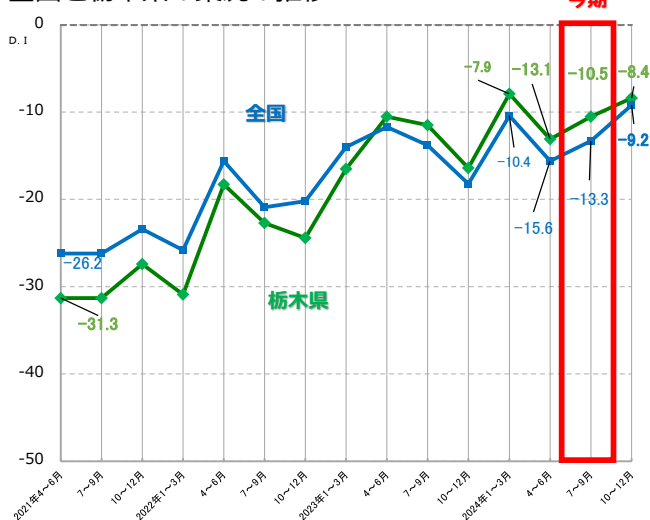
サービス業						
	D I 値	-9.3	-5.2	70.2	-17.3	-7.2

業況：前期から7.2ポイントの改善、来期も小幅な改善の見込み

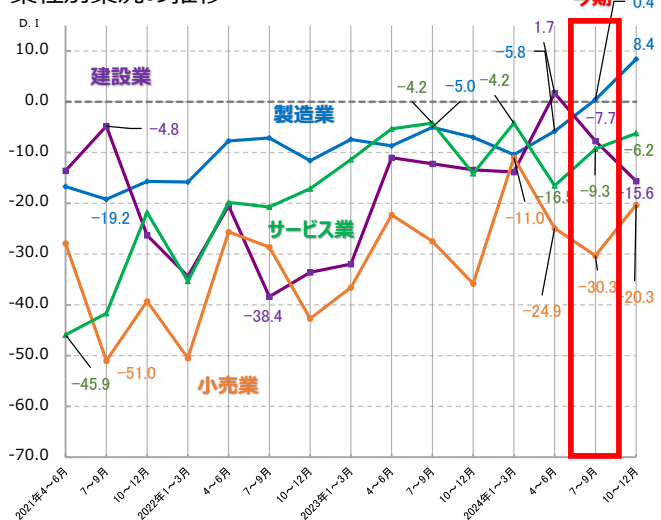
-6.2
(→)

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

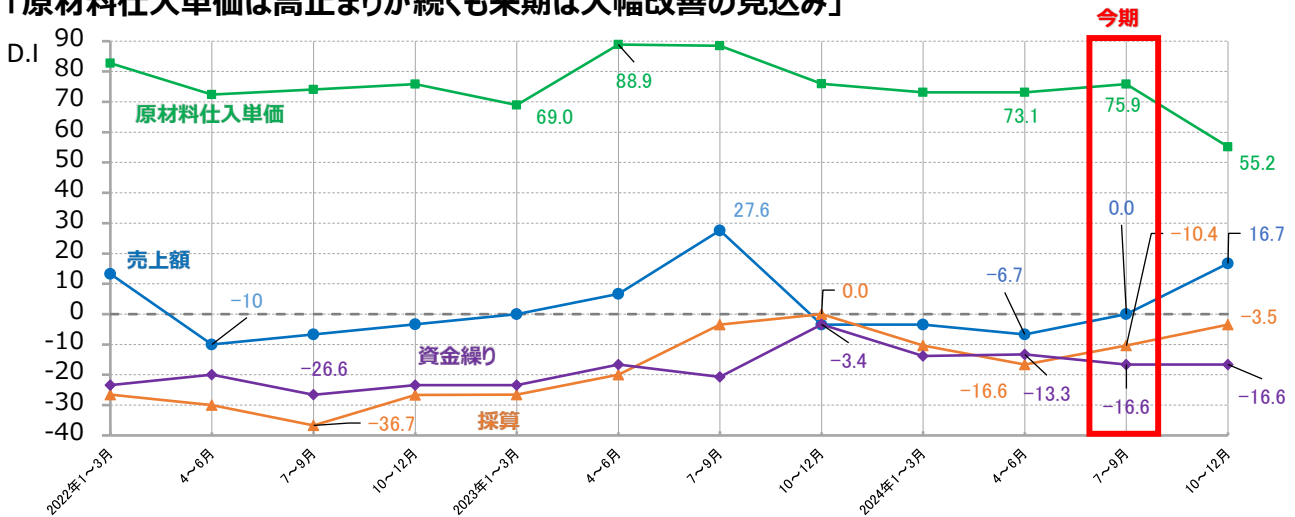


業種別業況の推移



製造業

「原材料仕入単価は高止まりが続くも来期は大幅改善の見込み」

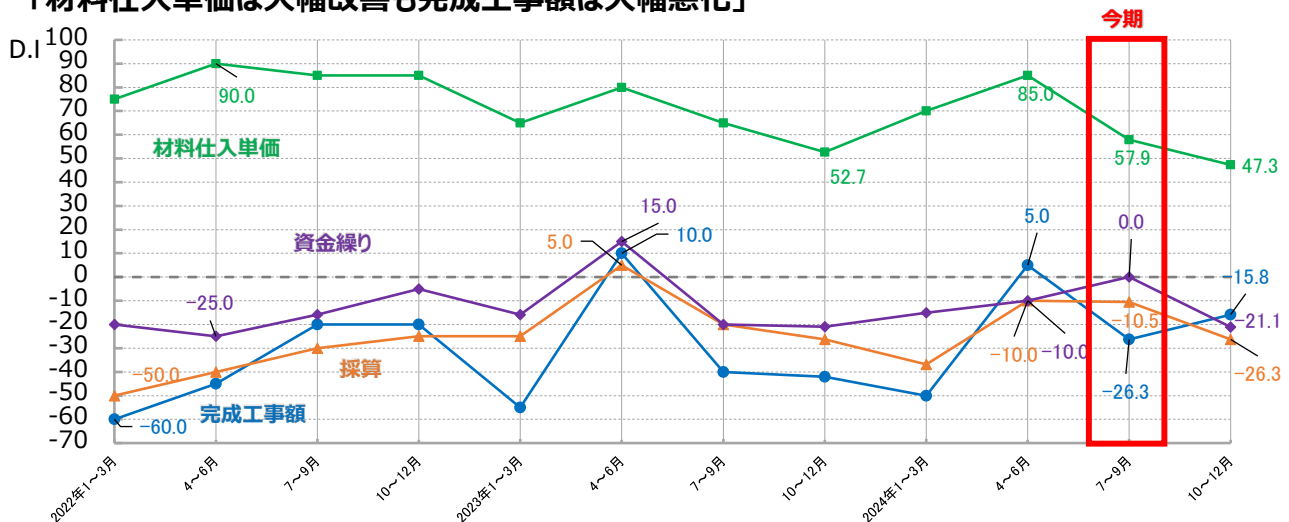


「原材料仕入単価」は2.8ポイント(73.1→75.9)の小幅な悪化となったが、来期は20.7ポイント(75.9→55.2)の大幅改善の見込み。「売上高」は6.7ポイント(-6.7→0.0)の改善となり、来期も16.7ポイント(0.0→16.7)の大幅改善の見込み。「採算」は6.2ポイント(-16.6→-10.4)の改善となり、来期も6.9ポイント(-10.4→-3.5)の改善の見込み。「資金繰り」は3.3ポイント(-13.3→-16.6)の悪化となったが、来期は横ばいの見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位： 原材料価格の上昇 (25.3%) 第2位： 需要の停滞 (19.0%)
 第3位： 製品ニーズの変化への対応 (10.1%) 第4位： 熟練技術者の確保難 (10.1%)

建設業

「材料仕入単価は大幅改善も完成工事額は大幅悪化」

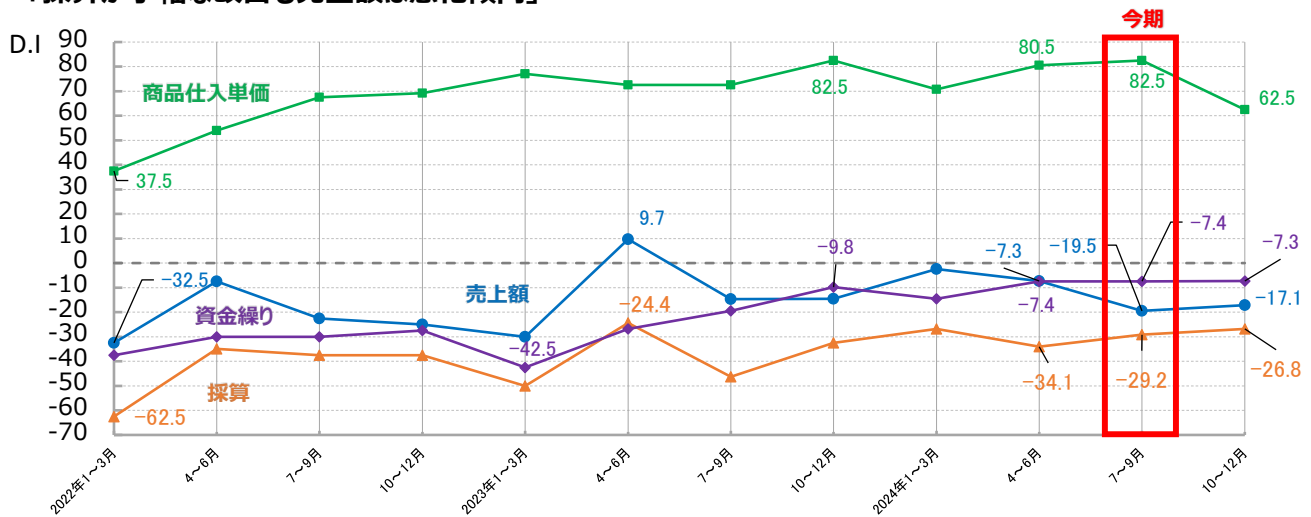


「材料仕入単価」は27.1ポイント(85.0→57.9)の大幅改善となり、来期も10.6ポイント(57.9→47.3)の改善の見込み。「完成工事額」は31.3ポイント(5.0→-26.3)の大幅悪化となったが、来期は10.9ポイント(-26.3→-15.8)の改善の見込み。「採算」はほぼ横ばい(-10.0→-10.5)となったが、来期は15.8ポイント(-10.5→-26.3)の大幅悪化の見込み。「資金繰り」は10.0ポイント(-10.0→0.0)の改善となったが、来期は21.1ポイント(0.0→-21.1)の大幅悪化が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位： 材料価格の上昇 (30.3%) 第2位： 従業員の確保難 (24.2%)
 第3位： 下請単価の上昇 (9.1%) 第4位： 熟練技術者の確保難 (9.1%)

小売業

「採算が小幅な改善も売上額は悪化傾向」

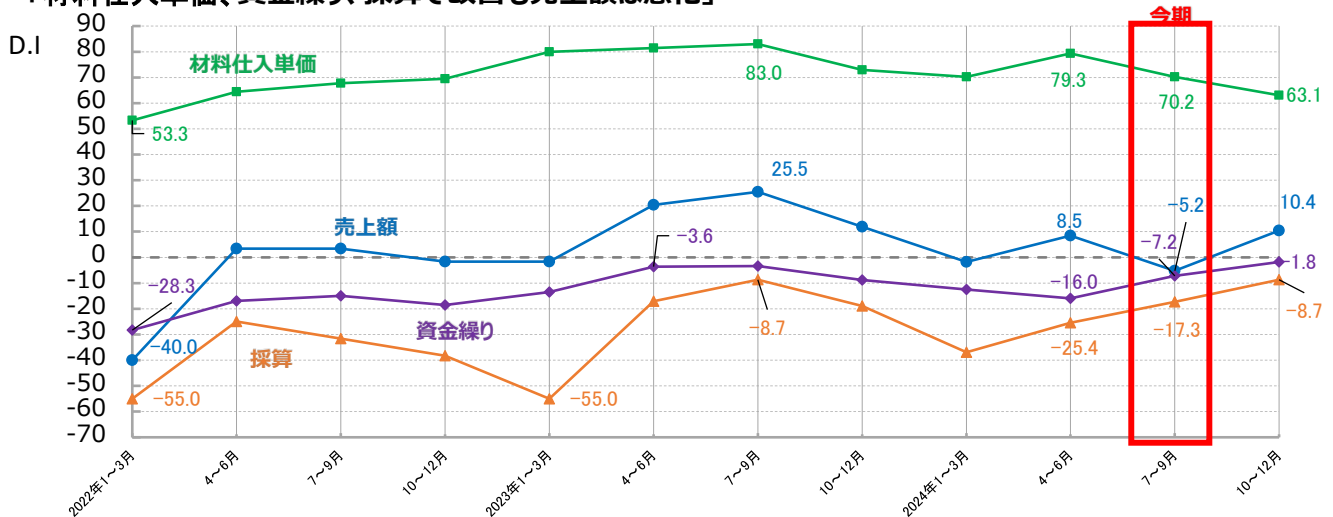


「採算」が4.9ポイント(-34.1→-29.2)の小幅な改善が見られた。来期も2.4ポイント(-29.2→-26.8)の小幅な改善が続く見込み。「売上額」は12.2ポイント(-7.3→-19.3)の悪化となったが、来期は2.4ポイント(-19.5→-17.1)の小幅な改善の見込み。「資金繰り」は横ばい(-7.4→-7.4)となった。来期もほぼ横ばい(-7.4→-7.3)が続く見込みである。「商品仕入単価」は2.0ポイント(80.5→82.5)の小幅な悪化となったが、来期は20.0ポイント(82.5→62.5)の大幅改善が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位：消費者ニーズの変化への対応 (20.7%) 第2位：仕入単価の上昇 (19.0%)
 第3位：大・中型店の進出による競争の激化 (13.8%) 第4位：購買力の他地域への流出 (8.6%)

サービス業

「材料仕入単価、資金繰り、採算で改善も売上額は悪化」



「材料仕入単価」は9.1ポイント(79.3→70.2)の改善となり、来期も7.1ポイント(70.2→63.1)の改善の見込み。「資金繰り」は8.8ポイント(-16.0→-7.2)の改善となり、来期は更に5.4ポイント(-7.2→-1.8)の改善が続く見込み。「採算」は8.1ポイント(-25.4→-17.3)の改善となった。来期も8.6ポイント(-17.3→-8.7)の改善の見込み。「売上額」は13.7ポイント(8.5→-5.2)の悪化となったが、来期は15.6ポイント(-5.2→-10.4)の改善が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇 (35.3%) 第2位：利用者ニーズの変化への対応 (10.6%)
 第3位：人件費の増加 (10.6%) 第4位：人件費以外の経費の増加 (8.2%)

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・下野市・うつのみや市・益子町・市貝町
壬生町・藤岡町・喜連川・那珂川町・那須塩原市

○調査時点

2024年9月1日

○調査対象期間

2024年7月～9月期の実績及び、2024年10月～12月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.3%
建設業	19	12.8%
小売業	41	27.7%
サービス業	58	39.2%
合計	148	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875